

「住田町ローカルコーディネーターチーム」

(地域おこし協力隊) を募集！

岩手県住田町では各地域が主体となった町づくりを推進するため、「小さな拠点づくり」という取り組みを開始しました。今回、各地域の「小さな拠点づくり」を推進していくローカルコーディネーターチーム（地域おこし協力隊）を募集します。

小さな拠点づくりとは、住民自治の基礎集団である集落の生産活動、交流活動全般を支える「住民協働」の仕組みをつくることです。今回募集するローカルコーディネーターはその小さな拠点づくりを推進していく実施主体の一つになります。



住田町は岩手県の県南部にある人口およそ5,900人の小さな町です。総面積の約90%が森林で、その豊富な資源を活かした木造役場庁舎、町営住宅、木育プロジェクトなどの事業に取り組んでいます。

魅力的な地域資源は多くあります。しかし、それを活用する仕組みや人材がないのが現状です。また、人口の減少や高齢化によって、集落機能の維持が困難になりつつあり、地域の活力の減退や担い手の減少など、多くの課題があります。

そのため、平成27年度に「住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」を策定し、人口・生活環境・所得対策を行い「住みたい町：すみた」の実現に向け取り組み始めました。

ローカルコーディネーターには、各地域の活動に従事しながら、交流人口の拡大、集落の維持・活性化、コミュニティビジネスの構築を目的として活動してもらいます。各地域ともに連携しながら地域づくりを進めていきましょう！



住田町役場新庁舎



各地での伝統芸能

1. 募集人員

4名

2. 活動内容

(1) 交流人口拡大コーディネーター（大股地区）



木造校舎（地区公民館）を活用し、町内・町外問わず人々が交流し、集まる場づくりをとおして、交流人口の拡大を図る。また、大股地区の歴史と自然の資源を活かしながら、大股地区や住田町の魅力を町外の方に体感してもらえるイベントの実施。

- ・木造校舎を活用したプロジェクト、イベント・ツアー等のソフト面での企画、実施
 - ・住田町（大股地区）を体験できる企画の立案、運営
- [特徴]大股地区には、宮沢賢治がこよなく愛した「種山ヶ原」を中心に、栗木鉄山などの歴史と自然資源があります。

(2) 遊休農地活用コーディネーター（下有住地区）

地区にある遊休農地について、利活用のモデルを構築。地域の既存団体とも協力しながら、構築したモデル事業の実証を行う。都市部からの農業体験希望者、新規就農者の受け入れ事業の構築。これらを通して、コミュニティビジネスにつなげる。



- ・遊休農地を活用したプロジェクト、イベント・ツアー等の企画、実施
 - ・コミュニティビジネスにつながる遊休農地利活用モデルの構築、実証
- [特徴]住民の手で守られてきた一本橋、旧小学校を活用した文化祭などの地域活動が行われています。

(3) 地域資源プロモーター（上有住地区）



上有住地区にある眠っている地域資源、魅力をソトの目線から発掘し町外にプロモーションを行う。プロモーションを通じて、住民の地域の意識向上と自己肯定感を高め、地域資源、魅力をソトに売り込んでいく。

- 地域資源（景観、観光名所、特産品など）の掘り起し、情報発信
 - 地域資源を活用した企画、実施（商品開発、サービス・コンテンツなど）
- [特徴]自然だけではなく、食材（そば）、景観（めがね橋）、平泉の黄金文化を支えた砂金、民俗資料館などの多くの地域資源があります。

(4) 観光資源プランナー（五葉地区）

観光資源の背景や歴史を活かしながら、観光客増加につながる活動を実施。現在の観光イベントへのサポートや提案を通して、自らも、観光客増加に向けた企画・ツアーを実施する。



- 地区の地域資源を活用した、観光客増加に向けた企画、実施
 - 滝観洞の楽しみ方再発見（企画）による五葉の魅力体験ツアーの企画、運営
- [特徴]洞内滝落差 29m が日本一の滝観洞、シャクナゲの群生が美しい五葉山、巨大鉄砲藩伊達を支えた五葉山の火縄。五葉山火縄銃鉄砲隊など。

(5) 共通事項

- 任期後に事業面、体制面、資金面で持続可能を目指した活動
- 外部人材（民間組織や移住希望者、ボランティア等）と連携した活動の実施
- SNSやホームページによる地域活動の情報発信
- お祭りや行事、共同作業などの地域コミュニティ活動への参加
- その他、地域活性化に関する活動

※（1）から（4）の活動から1つの業務に従事し、共通業務として（5）の活動を行うこととなります。また、（1）から（4）の業務について、相互に業務補助を行う場合があります。

3. 募集対象

次の全ての要件を満たす方とします。

- ①応募時点で20歳以上45歳未満（性別は問いません。）
- ②三大都市圏または地方都市等（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）に居住し、着任後は住田町に住民票を写し居住できる方（詳細は別紙：応募対象地域をご参考ください）
- ③普通自動車運転免許を取得されている方（AT限定可）
- ④パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント、メールなど）の操作ができる方
- ⑤地域の活性化に強い情熱があり、心身共に健康である方

4. 活動時間、休暇、勤務場所

①活動時間

- ・週29時間、週4または週5勤務の活動時間とします。

（ただし、12月29日から翌年1月3日までは活動不要とします。また、活動内容によっては、休日に活動した場合は代休日を与えることができます。）

- ・原則、8時30分～17時15分（休憩12時～13時）の間での活動時間となりますが、活動内容により、時間の変更は可能です。

②休暇

- ・有給休暇 平成28年10月1日～平成29年3月31日：5日
平成29年4月1日～平成30年3月31日：11日
平成30年4月1日～平成31年3月31日：12日
平成31年4月1日～平成31年9月30日：5日
- ・特別休暇 夏季休暇：7月から9月までの間で2日間。
忌引休暇：親族の程度によって日数が変わります。

③勤務場所

- ・各地区公民館または町内とします。

5. 雇用形態及び雇用期間

①住田町の非常勤特別職（嘱託職員）とします。

②雇用期間は、平成28年10月1日から平成31年9月30日までの最長3年間とします。ただし、活動に取り組む姿勢、成果等を勘案して年度単位で更新します。（活動開始日が10月1日というのは最も早い場合であり、個別の事情に応じ対応可能です。）

③副業は可とします。ただし、地域おこし協力隊員の本業務に支障のない範囲、任期後の定住も見据え、必要と判断される業務を可とします。副業を行う場合は、事前に所定の様式を提出し、許可を受ける必要があります。

④その他の任用、身分については町非常勤職員取扱要領に準じます。

6. 報酬及び福利厚生等

- ①報酬は月額250,000円（社会保険料の本人負担分等が控除されます。）
- ②社会保険（雇用保険、厚生年金、健康保険）に加入します。
- ③町で車を用意します。（業務以外の利用による場合のガソリン代は自己負担です。）
- ④住居については町で用意します。（木造仮設住宅の予定です。間取りは2DK、お風呂・トイレ別、家電はエアコンがついています。）
- ⑤木造仮設住宅の家賃については、月1万円で、自己負担になります。（引っ越しに係る経費、水道光熱費は全額自己負担）
- ⑥活動に必要なパソコン、消耗品、事務用品、研修参加費、ガソリン代などの経費については、予算の範囲内で町が負担します。
- ⑦小さいお子さんがいる場合・・・町内に保育園が2つあります。3歳児以上クラスは全員入所が可能で保育料は無料です。また、高校を卒業するまでは医療費が無料です。
- ⑧任期後、町内で起業する際は奨励金が支給されます。（最長5年、年間150万円）

7. 募集説明会

募集にあたって、下記のとおり、説明会と現地説明会（ツアー）を開催します。内容や時間、申込み等の詳細については、住田町のホームページやFacebook、募集ホームページ、ココロココなどの情報サイトにて告知いたします。

①説明会@東京都

1回目・・・日時：平成28年7月8日（金）19時～21時

場所：芝浦ハウス（東京都港区芝浦3-15-4）

2回目・・・日時：平成28年7月9日（土）11時～13時

場所：パソナグループ（東京都千代田区大手町2-6-4）

②説明会@仙台市

日時：平成28年7月9日（土）17時～19時

場所：THE 6（宮城県仙台市青葉区春日町9番15号）

③説明会@盛岡市

日時：平成28年7月23日（土）15時～17時

場所：ジョブカフェいわて（盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5F）

④現地説明会（ツアー）@住田町

日時：平成28年7月30日（土）10時～17時（予定）

⑤個別現地説明@住田町

日時：可能な範囲で対応いたしますので、一度、お問い合わせください。

※説明会や現地説明会（ツアー）に参加しない（できない）場合でも隊員への応募は可能です。

【募集情報媒体】

下記のとおり募集情報を発信しています。

- ・ローカルコーディネーターチーム募集ホームページ (<http://sumita-local.net>)
- ・住田町ホームページ (<http://www.town.sumita.iwate.jp/>)
- ・住田町 Facebook (<https://www.facebook.com/sumitacho/>)
- ・ココロココ (<http://cocolococo.jp/>)
- ・ニッポン移住・交流ナビ JOIN (<http://www.iju-join.jp/>)
- ・シゴトバクラシバ (<http://www.shigotoba-iwate.com/>)
- ・ふるさと回帰支援センター (<http://www.furusatokaiki.net/>)

8. 応募手続

①応募受付期間

平成28年6月15日(水)から平成28年8月10日(水)まで

(郵送又は持参とし、郵送の場合は必着とします。持参による受付の場合は開庁時間の平日8時30分から17時15分のみのお受けとなります。)

②応募書類

- ・住田町「地域おこし協力隊員」応募用紙(様式1)
- ・住田町「地域おこし協力隊員」活動目標(様式2)
(様式1及び様式2については住田町のホームページでダウンロードすることも可能です)
- ・住民票の写し(本籍記載のあるもの)
- ・運転免許証のコピー(表と裏)

③送付・問い合わせ先

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88番地1

住田町企画財政課政策推進係「地域おこし協力隊員」担当あて

電話：0192-46-2111または46-2114

FAX：0192-46-3515

Mail：kizai@town.sumita.iwate.jp

ホームページ：<http://www.town.sumita.iwate.jp/>

9. 選考

①第1次選考

書類選考により行います。結果は、応募用紙に記載の住所に文書で通知します。

②第2次選考

第1次選考合格者を対象に住田町役場で面接を行います。第2次選考の面接は8月20日(土)を予定しています。日程等の詳細については、第1次選考結果を通知する際に合格者へお知らせします。(会場までの交通費は自己負担です。新幹線をご利用の場合水沢江刺駅からはレンタカーやタクシーとなります。やむを得ない理由により、移動手段が確保できない場合はお伝えください。)

10. その他

- 着任後は、町職員、外部団体が隊員のスキルアップ研修の提案や活動のサポートに入るなど、町全体で支援制度を構築しています。
- 年に数回、外部専門家と一緒に活動できます。
- 県内コーディネーター団体と連携し、県内他市町村の地域おこし協力隊との関係性を持つことができます。